



Double Height_リビング部分と畳スペースは吹き抜けとなっている。愛猫のためのキャットウォークも完備。猫は二階から部屋の中をいつも見下ろし、なにやら満足している様子だという。Living_どの部屋からも眺望を楽しめるというコンセプトの中でも、抜群の解放感を持つリビング。廊下などの仕切りも極限に減らし、ワンフロアスタイルにしたことで効果が上がっている。



Deck
約60畳もの広さを持つウッドデッキから、一日中海を眺める。そんなゆったりとした贅沢な時間を楽しむことができる。

4

Luxury Location

時の流れを緩める贅沢ロケーション

葉山、逗子、鎌倉、横須賀など、名所が点在する三浦半島は、
住環境としても素晴らしい場所である。
さらに大自然を一手にまとめた眺望も得られたら、
これほど贅沢なことはいだろう。

Text / Dan Komatsu (小松 男) Photo / Akiko Osaki (大崎晶子)

神奈川県 諸井邸



BedRoom



Japanese



DiningKitchen



PlayRoom



EntranceHall



Loft

DiningKitchen_リビングからそのままつながるダイニングキッチン、キッチンスペースにスライドタイプの仕切りも設けられている。Japanese_施主の要望で畳のスペースも作られた。エントランスホールからも直接出入りすることができ、客間としても便利に使える。BedRoom_東南に向けて作られたベッドルームは居心地もよく、リラックスした時間を過ごす。Loft_キャットウォークの突き当たり部分にあるスペースは、薪ストーブの煙突をメンテナンスするときに使用するほか、ちょっとした隠れ家のような空間になっている。EntranceHall_門から上がってきたメインの玄関、デッキから、畳部屋からと、エントランスホールはハプスタイルにされている。PlayRoom_2階部分にも部屋が作れており、高い位置からなのでさらに遠くまで見渡せる。



Gate

Gate_この家を作る際に、もっとも時間とコストを費やしたことであろう基礎部分。約7か月かかったという全工期中、基礎だけで約2か月かかったという。門を通り、階段を上がると目の前に飛び込んでくる最高の景色は、とてもドラマチックだ。Exterior_寝室やサニタリーまで、すべての部屋は海側に向けた窓を備えている。調整区域であり、この眺望を妨げる建造物は将来的にも建たないという。

すべての部屋から眺望を楽しめるように設計。

家づくりの最重要課題とも言えるのは、ロケーション選ぴだと言っても過言ではない。もし後から気に入らなくなってしまうと、建造物であれば手直しができる場合が多いが、地面に関してはいかならないものだ。ここで思い通りに行かないもの。ここでも紹介する諸井邸は、最高の絶景ロケーションを見つけ、素晴らしい家を建てることのできた好例である。今から遡ること5年ほど前、リア

点を探していたときのこと。たまたま見つけたのがこの場所だった。相当な築年数が経った民家が建っていたのだが、なによりも、視界を遮るものなく浦賀水道を一望できるこの眺望に胸を打たれ、即手を打ったそう。それから何年かのあいだ、名前を耳にしたことのあるような著名な建築家の元なども訪ねて、この場所に似合う家を設計してもらったそうだが、どれも過剰と言えるほど押し出し感が強く、思い描くようなデザインはなかったと言う。空家をそのままの状態です。月日だけが流れ、その間にも土地を譲ってほしいという声は多く上がった。

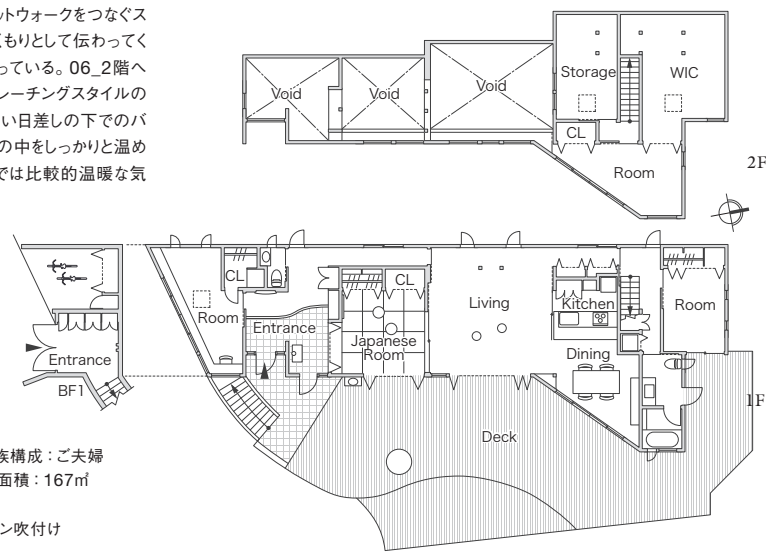


Exterior



Detail

01_昨年11月に引き渡しとなったが、この家での本格的な生活はまだ始まっていない。必要なものを少しずつ集め、徐々に快適に過ごせるようにしている。02_無垢木材とホワイトを基調とした室内は、明るく清潔感に溢れている。03_天井が高い場合シーリングファンはとても重要なアイテムとなる。室内上下の空気を循環させるだけで、快適に過ごすことができる。04_2階部分のプレイルームとキャットウォークをつなぐベース。屋根裏部屋のような閉塞感が他の部屋との大きな違い。木材の質感がぬくもりとして伝わってくる。05_ダウンライトのレールは梁の側面に取り付けることで、すっきりとした印象になっている。06_2階へと続く階段。壁は漆喰が施工されている。07_愛猫も喜んでいるキャットウォーク。グレーチングスタイルのものが採用されている。08_もちろんバスルームからも眺望を楽しむことができる。明るい日差しの下でのバスタイムは最高に気持ちいい。09_エントランスホールに設置された薪ストーブは、家の中をしっかりと温めてくれる。10_愛猫のために柱には縄がまかれている。11_ここは首都圏エリアの中では比較的温暖な気候な場所だ。ゆくゆくはガーデニングも楽しみたいとのことだ。



Planning Data

所在地：神奈川県
竣工：2013年11月 家族構成：ご夫婦
敷地面積：337㎡ 延床面積：167㎡
構造：木造軸組工法
外装仕上げ：モルタルリシン吹付け
内装仕上げ：壁／漆喰

BUILDER INFORMATION

ARCHI CRAFT

神奈川県鎌倉市稲村ヶ崎2-2-2
TEL：0467-22-1142
http://www.archicraft.jp



そうだが、ある時、お子さんの友人家族に紹介してもらった鎌倉の『アーキクラフト』に相談したところ、要望をしっかりと取り入れつつ、より具体的に、そこでの生活を想像できるようなプランニングを作ってくれた。敷地内に入って最初に目に飛び込んでくる景色と、その景色を楽しむために作られた約60畳もある広大なウッドデッキこそ、当初施主の希望にはなかったそうだが、建築家に必ず満足してもらえるから作りたいと言われて実現したもの。この場所の解放感たるものや、普通では考えられないような贅沢なロケーションなのである。

「なによりも大切にしていたかったのは、この景色の美しさだったので、どの部屋からでも外の眺望を臨める



三浦半島の南端に近い場所にあり、晴れている日には房総半島もきれいに見渡せる。花火大会は様々な海岸で行われるものが見える。世界でも指折りの船舶航行数を誇る浦賀水道の船を眺めているだけで、時間を忘れてしまうことだろう。リビングは1、2階部分で広く窓が備わり、環境の良さをさらに引き立てている。

ように設計していただきました。実際、客人用のお手洗い一か所だけ外が見えないだけで、他のすべての部屋から景色を楽しむことができます。この家ができてからというもの、年に一度顔を見ればよい方だった子どもも、時間を見つけては遊びに来るようになりました。自然と人が集まってくるような環境になったのだと思います」と、諸井さん。

昨年末に引き渡されたばかりの家であることと、仕事の都合などで、現在は週末でいどしか来ることができないそうだが、一日中過ごしても飽きることはないこの景色に、心底満足しており、いずれ始まるこの場所での生活を思い浮かべ、心を躍らせている。